



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第116期につきましては、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善傾向が継続し、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、欧州の財政問題等海外経済の不安要素もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営ビジョンとして掲げております「各事業において、コアとなる分野・製品でアジアのリーディングカンパニーになる」ことを目標に、国内およびアジア地域を中心とした拡販活動に注力いたしました。

この結果、第116期の売上高は254億17百万円、営業利益13億83百万円、経常利益15億76百万円、当期純利益15億29百万円となりました。

今後も引き続き、顧客満足度の向上を図り、各事業分野の収益力を高め、併せてグループシナジー効果による事業拡大に向けた活動を強化して、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらず格別のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年2月
代表取締役社長 名倉 宏之

産業用機能フィルター・コンベア事業

売上高構成比 **67%**

売上高 **170億24百万円** (前期比0.9%増)
営業利益 **15億45百万円** (前期比3.0%増)

海外売上高の増加に加え、当期からFILCON EUROPE SARLを連結の範囲に含めたことも寄与し、当事業では売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

電子部材・フォトマスク事業

売上高構成比 **22%**

売上高 **57億0百万円** (前期比25.4%増)
営業利益 **2億77百万円** (前期営業利益3百万円)

既存の製品に加え太陽光発電システム設備の売上増加や当期からエスディアイ・エレクトロニクス・ジャパン株式会社を連結の範囲に含めたことも寄与し、当事業では売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

環境・水処理関連事業

売上高構成比 **7%**

売上高 **16億74百万円** (前期比2.9%減)
営業利益 **99百万円** (前期比5.5%減)

当事業では、プール本体およびろ過装置等の売上は増加したものの、その他の分野の売上減少もあり、売上高・営業利益ともに前期を下回りました。

不動産賃貸事業

売上高構成比 **4%**

売上高 **10億18百万円** (前期比1.9%増)
営業利益 **7億33百万円** (前期比3.9%増)

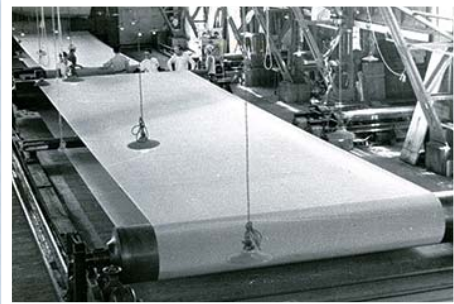
当事業では、既存の賃貸物件が順調に稼働したほか、住宅跡地を賃貸ビルとして賃貸を開始した結果、売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

当社創立100年の歴史

大正5年(1916年)～

大正5年(1916年)4月

東京金網株式会社発足(創業)



世田谷工場の様子

昭和35年(1960年)～



昭和35年(1960年)7月

淀橋、世田谷工場を移設統合し、東京工場を新設



細線機

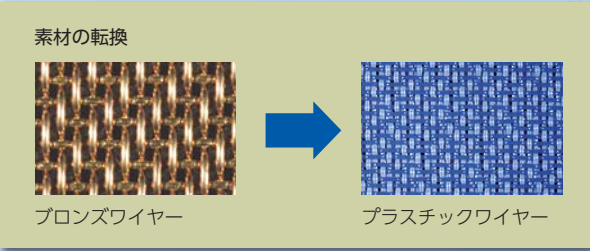


成通しの様子

昭和47年(1972年)～

昭和47年(1972年)12月

日本特殊金属工業株式会社、株式会社狭山製作所を吸収合併し、商号を日本フィルコン株式会社に變更



当時のフォトファブリケーション装置

平成15年(2003年)～

平成15年(2003年)3月

関西金網株式会社を完全子会社化



平成17年(2005年)10月

FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD. 設立(タイ)



平成23年(2011年)10月

株式会社OTTOプロダクト(現 株式会社アクアプロダクト)を完全子会社化



創業～戦後の進展

生産力の増強

新規分野への挑戦

グループの形成～現在

国内での紙の需要の高まりを受け、海外生産に頼っていた紙・パルプ抄造用網の製造を目的として、富士製紙・樺太工業の支援により、当社の前身である東京金網株式会社が発足しました。

食品加工業や、耐熱性が求められる金属加工用コンベア等、金網の製造で培った技術が応用できるフィルター分野で、水処理事業や電子部品事業の母体を発足させました。

昭和48年以降勃発したオイルショックにより、国内における紙の需給が逼迫しました。この頃から、当社では技術革新によりこれまで金属製だった紙・パルプ抄造用網がプラスチック製へと転換していきました。

また、フォトファブリケーション技術と精密金属加工技術をベースに、電子精密部品分野の生産販売に着手しました。

関西金網株式会社、株式会社アクアプロダクトを完全子会社化しました。また、海外での需要の高まりを受け、新たに海外生産拠点を確立しました。現在、当社グループは「各事業において、コアとなる分野・製品でアジアのリーディングカンパニーになる」ことを中期経営ビジョンの目標として掲げ、国内およびアジア地域を中心とした積極的な拡販活動を展開しています。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 平成 27 年 11 月 30 日現在	前期末 平成 26 年 11 月 30 日現在
流動資産	16,727	14,772
固定資産	18,471	17,100
流動負債・固定負債	18,219	16,749
純資産	16,979	15,123
総資産	35,198	31,872

(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 平成 26 年 12 月 1 日から 平成 27 年 11 月 30 日まで	前期 平成 25 年 12 月 1 日から 平成 26 年 11 月 30 日まで
売上高	25,417	24,150
売上総利益	8,925	8,433
営業利益	1,383	1,167
経常利益	1,576	1,466
当期純利益	1,529	1,182

(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

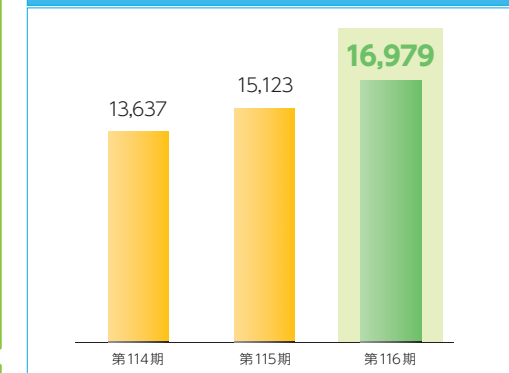
(単位：百万円)

	当期 平成 26 年 12 月 1 日から 平成 27 年 11 月 30 日まで	前期 平成 25 年 12 月 1 日から 平成 26 年 11 月 30 日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,832	2,148
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,879	△ 1,124
財務活動による キャッシュ・フロー	678	△ 2,028
現金及び現金同等物の 期末残高	2,900	2,062

(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

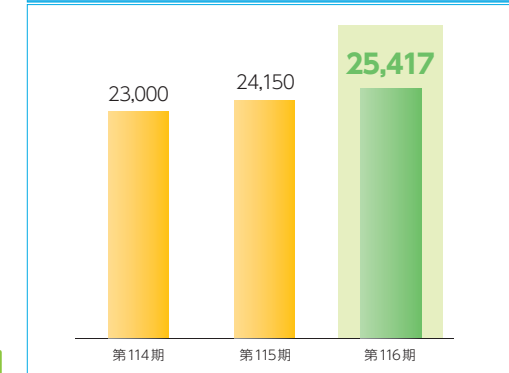
純資産

(単位：百万円)



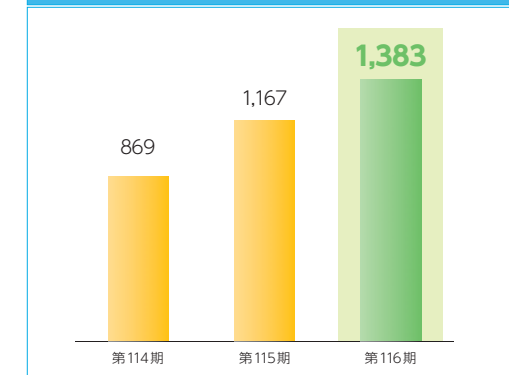
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



POINT 純資産合計は、前期末に比べて18億55百万円増加し、169億79百万円となりました。これは、主として当期純利益15億29百万円の計上による利益剰余金の増加であります。

POINT 国内およびアジア地域を中心とした拡販活動に注力した結果、非連結子会社2社を連結の範囲に含めたことも寄与し、売上高は254億17百万円（前期比5.2%増）となりました。

POINT 営業利益は、売上高の増加と売上原価率の改善により、13億83百万円（前期比18.5%増）となりました。

(平成 27 年 11 月 30 日現在)

商号 日本フィルコン株式会社
本店所在地 東京都稲城市大丸2220番地
設立年月日 昭和11年3月18日(創業大正5年)
資本金 26億85百万円
上場取引所 東京証券取引所(市場第一部)

主要な製造、販売品目

紙・パルプ抄造用網、各種工業用特殊網等
電子部材、フォトマスク製品、太陽光発電システム設備等
プール本体および水処理装置、その他環境関連製品等
店舗・駐車場の賃貸等

主要な事業所等

当社の主要な事業所

本社・東京事業所(東京都稲城市) 静岡事業所(静岡県富士市)
北海道営業所(北海道千歳市) 大阪営業所(大阪府吹田市)
上海事務所(中国 上海市)

子会社

Filcon America, Inc. (アメリカ オレゴン州)
FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD. (タイ プラチンプリ県)
FILCON EUROPE SARL (フランス バ・ラン県)
関西金網株式会社(本社：大阪府大阪市)
Kansai U.S.A. Corporation (アメリカ テキサス州)
Siam Wire Netting Co., Ltd. (タイ ランプーン県)
TMA CORPORATION PTY LTD (オーストラリア 西オーストラリア州)
株式会社アクアプロダクト(本社：東京都千代田区)
関西金属網科技(昆山)有限公司(中国 江蘇省)
エスデアイ・エレクトロニクス・ジャパン株式会社(東京都稲城市)

当社従業員数467名 企業グループ従業員数1,179名

取締役・監査役

(平成 28 年 2 月 24 日現在)

代表取締役社長	名 倉 宏 之
常務取締役	松 木 義 夫
常務取締役	齋 藤 芳 治
取締役	松 下 篤 史
社外取締役	片 山 洋 一
常勤監査役	内 田 勝
社外監査役	大 塚 淳
社外監査役	村 山 周 平

(平成 27 年 11 月 30 日現在)

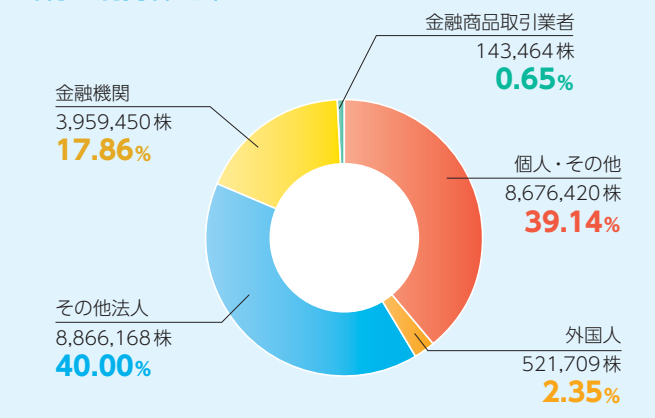
発行可能株式総数	80,000,000 株
発行済株式の総数	22,167,211 株
株 主 数	16,051 名

大株主

株 主 名	持株数(百株)	持株比率(%)
王子ホールディングス株式会社	27,001	12.20
大王製紙株式会社	18,165	8.21
日本製紙株式会社	15,581	7.04
日本フィルコングループ従業員持株会	15,137	6.84
三菱UFJ信託銀行株式会社	10,230	4.62
いわき大王製紙株式会社	4,740	2.14
竹田昌弘	4,027	1.82
株式会社みずほ銀行	4,000	1.81
第一生命保険株式会社	3,950	1.78
大津板紙株式会社	3,820	1.73

(注) 1. 持株比率は自己株式(35,863株)を控除して計算しております。
2. 持株数は百株未満は切り捨て、持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

所有者別持株比率



株主メモ	
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金の基準日	期末配当金: 11月30日 中間配当金: 5月31日
定時株主総会	毎年2月
議決権の基準日	定時株主総会: 11月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告により、当社のホームページ http://www.filcon.co.jp/ に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問合せ先		
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問合せ先	お取引の証券会社になります。	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) URL http://www.tr.mufig.jp/daikou/
お 取 扱 店		三菱UFJ信託銀行株式会社 本店
ご 注 意	未払配当金の支払、支払明細発行については、株主名簿管理人までお問合せください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 (特別口座に記録したままでは、株式を証券取引所で売買することはできません。)

株主優待制度 毎年11月末現在の株主様へ ワインを贈呈

ご所有株式
100株以上 《1,000円相当品

ご所有株式
1,000株以上 《2,000円相当品

※年1度 毎年3月下旬の発送を予定しております。



日本フィルコン株式会社

〒206-8577 東京都稲城市大丸2220番地
TEL 042 (377) 5711 (代表) FAX 042 (377) 5714
<http://www.filcon.co.jp/> フィルコン 検索

